

平成30年度行政事業レビューシート(内閣府)

事業名	青年国際交流経費			担当部局庁	政策統括官(共生社会政策担当)	作成責任者	
事業開始年度	昭和34年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	青年国際交流担当	参事官	山谷 英之
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	内閣府設置法(平成11年7月16日 法律第89号)第4条第3項二十七 「青少年の健全な育成に関する関係行政機関の事務の連絡調整及びこれに伴い必要となる当該事務の実施の推進に関する事」			関係する計画、通知等	「子供・若者育成支援推進大綱」(平成28年2月9日 子ども・若者育成支援推進本部決定)		
主要政策・施策	子ども・若者育成支援			主要経費	その他の事項経費		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	①青年の国際的視野を広げ、国際協調の精神やリーダーシップを持った青年を育成する。 ②国境を越えた青年相互の友好と理解を促進し、長期にわたる緊密な人的つながりを形成する。 ③上記②に加え、国家間の友好・親善を推進する重要な事業として実施することにより、我が国の外交及び国際交流の基盤形成に資する。また、事後活動として、青年の社会貢献活動等による活躍を促進する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	・航空機による派遣・招へい事業及び船による多国間交流事業を実施。 ・わが国及び諸外国から選抜された参加青年が、世界的な共通課題についての研究・討議、自国文化の紹介などの各種交流活動、産業・文化・教育施設等の視察・意見交換、船内での共同生活、訪問国でのホームステイなどを行う。 ・参加青年は、各国の代表者として、皇太子殿下の御接見などを賜ったり、各国の元首級等を表敬訪問。 ・これまでに、日本青年と外国青年合せて約4万人近くが事業に参加。日本を含む世界40カ国以上で事後活動組織が設立され、世界的なネットワークを発展させるとともに、様々な社会貢献活動を行っている。						
実施方法	委託・請負						
予算額・執行額 (単位:百万円)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度要求
	予算の状況	当初予算	1,351	1,412	1,406	1,410	1,448
		補正予算	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-
	計		1,351	1,412	1,406	1,410	1,448
	執行額		1,352	1,381	1,393		
執行率(%)		100%	98%	99%			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		100%	98%	99%			
平成30・31年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	30年度当初予算	31年度要求	主な増減理由			
	青年の船運航費	775	776	「新しい日本のための優先課題推進枠」137			
	諸謝金	504	650				
	外国人招へい旅費	109	0				
	職員旅費	14	14				
	青年海外派遣旅費	2	2				
	その他	6	6				
計	1,410	1,448					

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	27年度	28年度	29年度	中間目標		目標最終年度	
							-	年度	-	年度
青年国際交流事業を通じて、参加青年本人と参加国の人々と相互理解と友好が深まったと思う者の割合を90%以上とする。	青年国際交流事業の各事業における参加青年アンケート調査において、事業を通じて参加青年本人と参加国の人々との相互理解と友好が深まったと思う人の割合(アンケート調査において深まったと回答した者数/アンケート調査回答者数)	成果実績	%	91	-	-	-	-	-	-
		目標値	%	90	-	-	-	-	-	-
		達成度	%	101.1	-	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	青年国際交流事業の各事業における参加青年アンケート調査									
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	27年度	28年度	29年度	中間目標		目標最終年度	
							-	年度	30	年度
青年国際交流事業フォローアップ調査において、事業から一年後、「同事業に参加した外国参加青年と現時点でも交流が続いているか」に対する回答(①続いている、②続いていない)において、①を選択した者の割合を95%(27年度は75%)以上とする。	青年国際交流事業フォローアップ調査において、事業から一年後、「同事業に参加した外国参加青年と現時点でも交流が続いているか」に対する影響(人的ネットワーク構築)を示す割合(フォローアップ調査において①と回答した者数/フォローアップ調査回答者数)	成果実績	%	100	96.3	96.2	-	-	-	-
		目標値	%	75	95	95	-	-	95	-
		達成度	%	133.3	101.4	101.3	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	内閣府青年国際交流事業既参加日本青年フォローアップ調査報告書									
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	27年度	28年度	29年度	中間目標		目標最終年度	
							-	年度	30	年度
青年国際交流事業フォローアップ調査において、事業から一年後、「事業で得たリーダーシップ能力等を発揮する具体的機会を得た」に対する回答(①そう思う、②ややそう思う、③どちらでもない、④あまりそう思わない、⑤そう思わない)の5段階評価において、①及び②を選択した者の割合を80%以上とする。	青年国際交流事業フォローアップ調査において、事業から一年後、「事業で得たリーダーシップ能力等を発揮する具体的機会を得た」に対する影響(青年リーダー育成の自覚)を示す割合(フォローアップ調査において①又は②と回答した者数/フォローアップ調査回答者数)	成果実績	%	-	-	72.9	-	-	-	-
		目標値	%	-	-	80	-	-	80	-
		達成度	%	-	-	91.1	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	内閣府青年国際交流事業既参加日本青年フォローアップ調査報告書									
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	27年度	28年度	29年度	中間目標		目標最終年度	
							-	年度	30	年度
青年国際交流事業フォローアップ調査において、事業から一年後、「事業参加経験をきっかけに社会貢献(ボランティア活動等)に取り組むようになった」に対する回答(①そう思う、②ややそう思う、③どちらでもない、④あまりそう思わない、⑤そう思わない)の5段階評価において、①及び②を選択した者の割合を60%以上とする。	青年国際交流事業フォローアップ調査において、事業から一年後、「事業参加経験をきっかけに社会貢献(ボランティア活動等)に取り組むようになった」に対する影響(社会貢献活動の促進)を示す割合(フォローアップ調査において①又は②と回答した者数/フォローアップ調査回答者数)	成果実績	%	-	-	69.2	-	-	-	-
		目標値	%	-	-	60	-	-	60	-
		達成度	%	-	-	115.3	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	内閣府青年国際交流事業既参加日本青年フォローアップ調査報告書									
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							チェック			

		活動指標		単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		国際青年育成交流事業、日本・中国 青年親善交流事業、日本・韓国青年 親善交流事業、次世代グローバル リーダー事業、「世界青年の船」事業、 「東南アジア青年の船」事業、青年 社会活動コアリーダープログラム、 地域課題対応人材育成事業におい て、外国青年と交流を行った日本 参加青年の人数	活動実績	人	292	286	287	-	-
			当初見込み	人	297	297	289	289	289
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		国際青年育成交流事業、日本・中国 青年親善交流事業、日本・韓国青年 親善交流事業、次世代グローバル リーダー事業、「世界青年の船」事業、 「東南アジア青年の船」事業、青年 社会活動コアリーダープログラム、 地域課題対応人材育成事業におい て、日本青年と交流を行った外国 参加青年の人数	活動実績	人	543	521	550	-	-
			当初見込み	人	563	560	560	548	548
単位当たり コスト		算出根拠		単位	27年度	28年度	29年度	30年度活動見込	
		X=事業のための予算執行額/Y=事業 参加人数・交流日数	単位当たり コスト	円	43,464	44,463	43,775	44,096	44,096
	計算式		X/Y		1,317,229,5 60 /30,306	1,344,430,1 06 /30,237	1,362,354,1 93 /31,122	1,380,527,0 00 /31,307	1,380,527,000 /31,307
政策評価、経済・ 財政再生アクション・ プログラ ムとの関係	政策	12. 共生社会実現のための施策の推進							
	施策	⑧青年国際交流の推進							
	測定指標	定量的指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
			実績値	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	-								

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	グローバル化が進展し、あらゆる分野で国境を越えた協力・調整・交渉が不可欠となっている現在、グローバル人材の育成は我が国の最重要課題の一つであり、社会のニーズを反映しているといえる。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	グローバル人材の育成以外にも国家間の友好・親善を推進する事業という重要な側面があり、地方自治体、民間等に委ねることができず、国が実施する必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	「子ども・若者育成支援推進大綱」(平成28年2月9日 子ども・若者育成推進本部決定)においても、若者の国際理解を促し、グローバル化に対応したリーダーシップ能力、異文化対応力を育成するとともに、日本人としてのアイデンティティの確立を図るため、国際交流の機会を提供することとされている。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札又は公募型随意契約により、競争性ある調達方式を実施している。一者応札については、平成29年3月の総務省公共サービス改革推進室によるヒアリングを経て、一層の入札要件緩和等に努めているところ。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	船事業の海外寄港地における交通手段の調達は、随意契約により行っている。
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	日本参加青年の参加費については、応分の費用負担としている。近年は日本参加青年の負担額を増加させており、適宜見直しを行っている。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	毎年度事業内容の見直しを行うとともに、既参加青年を始めとするボランティアの支援等により、経費の削減に努めている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業に必要な費目・使途に限定している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	経費削減、費用対効果等の多角的な視点から事業の効率化に取り組んでいる。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果実績は成果目標に対し、概ね達成している。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	グローバル化に対応した青年層の育成と外交・国際交流の基盤形成に資する事業として、高く評価されている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績は概ね見込みに見合ったものとなっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	事業に参加した青年が組織する日本及び世界40か国以上に設立された各国事後活動組織は、ネットワークを発展させるとともに、様々な社会貢献活動を行っている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	<p>経費については、事業内容の見直しや効率化を進め、可能な限りの縮減を図っている。</p> <p>本事業については、平成24年度行政事業レビュー以降の御指摘を踏まえ、24～29年度に毎年度、外部有識者による検討会を開催し、事業の成果検証及び今後の事業の在り方について検討を行ってきたところ。例えば「平成29年青年国際交流事業に関する検討会」においては、国が実施することによって質の高い訪問国活動や優秀な青年との交流機会を持てる点、青年が日本の強みを再認識することに資する点、国際社会・地域社会で活躍する人材の育成に貢献している点などが評価された。今後はそれらを一層充実させるとともに、事業参加者のフォローアップや広報面に工夫を要することなどが指摘された。</p>	
	改善の方向性	<p>経費については、多角的な観点から、既に様々な見直し・改善を行ってきたところ(例えば、平成29年度においては、事業における各種行事の見直しや、印刷・発送経費の削減等)であるが、引き続き、適切な自己負担の在り方の検討、レセプション等行事の効率化、外国寄港時の当地活動費用の節減に向けた外国政府への協力依頼、民間企業への協力依頼等による経費削減の取組を進める。</p> <p>事業内容については、事業目的の達成に向けた効率的なプログラムの実施のため、有識者による検討会における指摘を踏まえ、PDCAサイクルによる不断の見直し・改善を行うとともに、参加青年のアンケート結果を活用してプログラムの構成の見直しを行うこととしている。</p>	

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

現
状
通
り

引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めること。また、効率的に執行した実績を概算要求に反映させること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現
状
通
り

引き続き、効果的・効率的な事業の実施等に努めて参りたい。

備考

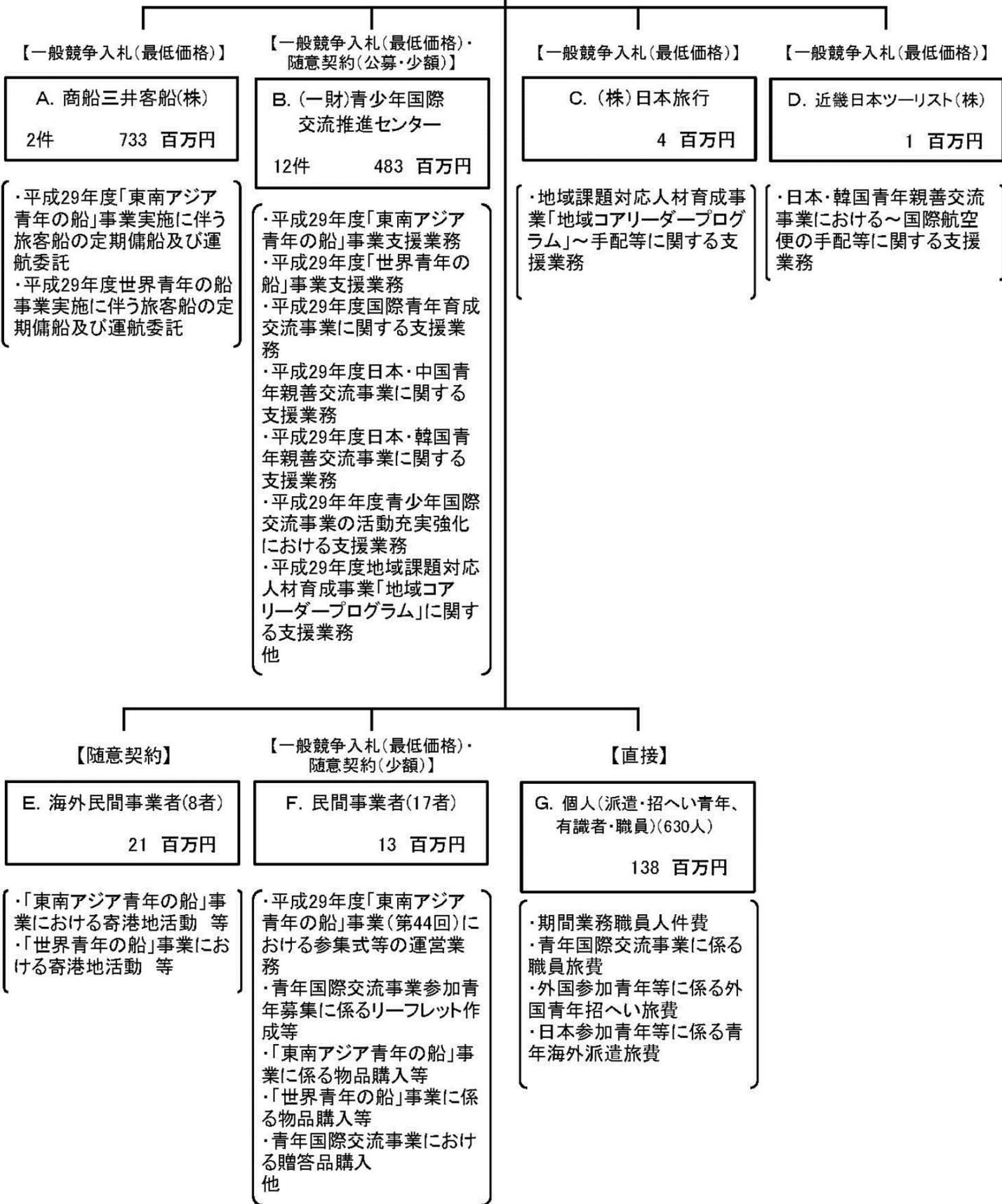
関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	0127	平成23年度	0134	平成24年度	0131	平成25年度	0092
平成26年度	0088	平成27年度	0095	平成28年度	0084		
平成29年度	内閣府 (0088)						

※平成29年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

内閣府政策統括官
(共生社会政策担当)
1,393 百万円

〔日本と諸外国の青年の交流により、相互理解と友好を促進し、次代を担うにふさわしい国際性を備えた健全な青年を育成することを促進〕



※端数処理の関係で内訳が合計に一致しない。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.商船三井客船(株)			B.(一財)青少年国際交流推進センター		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
備船料		570	事業費	旅費、謝金、借料、会議費、雑役務費等	317
運航経費	港費、燃料費、運航消耗品、供食費等	114	人件費	担当者の人件費	90
運航委託手数料		49	一般管理費		40
			消費税		36
計		733	計		483
C.(株)日本旅行			D.近畿日本ツーリスト(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	参加青年の国際航空券等	4	旅費	参加青年の国際航空券等	1
計		4	計		1
E.Karusan Travels			F.(株)ニューオータニ		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
借料	寄港地活動に要すバス、ハイヤー借上げ料	5	事務委嘱	東南アジア青年の船事業参集式運営業務	5
計		5	計		5
G.職員A			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
賃金	人件費	4			
計		4	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	商船三井客船(株)	2010401046878	平成29年度「東南アジア青年の船」事業(第44回)の実施に伴う旅客船の定期備船、運航委託	419	一般競争契約 (最低価格)	1	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載してない。
2	商船三井客船(株)	2010401046878	平成29年度「世界青年の船」事業の実施に伴う旅客船の定期備船、運航委託	314	一般競争契約 (最低価格)	1	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載してない。

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(一財)青少年国際交流推進センター	2010005002856	平成29年度「東南アジア青年の船」事業(第44回)支援業務	138	一般競争契約 (最低価格)	1	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載してない。
2	(一財)青少年国際交流推進センター	2010005002856	平成29年度「世界青年の船」事業支援業務	109	一般競争契約 (最低価格)	1	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載してない。
3	(一財)青少年国際交流推進センター	2010005002856	平成29年度国際青年育成交流事業に関する支援業務	81	一般競争契約 (最低価格)	1	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載してない。
4	(一財)青少年国際交流推進センター	2010005002856	平成29年度地域課題対応人材育成事業「地域コアリーダープログラム」に関する支援業務	70	随意契約 (公募)	1	-	
5	(一財)青少年国際交流推進センター	2010005002856	平成29年度日本・韓国青年親善交流事業に関する支援業務	27	一般競争契約 (最低価格)	1	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載してない。
6	(一財)青少年国際交流推進センター	2010005002856	平成29年度青年国際交流事業の活動充実強化に関する支援業務	23	随意契約 (公募)	1	-	
7	(一財)青少年国際交流推進センター	2010005002856	平成29年度日本・中国青少年親善交流事業に関する支援業務	26	一般競争契約 (最低価格)	1	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載してない。
8	(一財)青少年国際交流推進センター	2010005002856	平成29年度国際青年育成交流事業にかかる事前研修の運営業務	3	一般競争契約 (最低価格)	1	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載してない。
9	(一財)青少年国際交流推進センター	2010005002856	*「東南アジア青年の船」事業(第44回)にかかる関係各国連絡会議等運営業務	3	一般競争契約 (最低価格)	2	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載してない。
10	(一財)青少年国際交流推進センター	2010005002856	地域課題対応人材育成事業「地域コアリーダープログラム」事前研修の運営業務	1	随意契約 (少額)	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)日本旅行	1010401023408	地域課題対応人材育成事業「地域コアリーダープログラム」国際航空便手配等に関する支援業務	4	一般競争契約 (最低価格)	2	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載してない。

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	近畿日本ツーリスト(株)	4010001148932	日本・韓国青年親善交流事業における国際航空便の手配等に関する支援業務	1	一般競争契約 (最低価格)	4	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載してない。

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	Karusan Travels	-	スリランカ寄港地活動に要するハイヤー借上げ料	5	随意契約 (その他)	-	-	
2	Lotus Trans Travel Private Ltd.	-	インド寄港地活動に要するバス、ハイヤー借上げ料	5	随意契約 (その他)	-	-	
3	VLK Royal Tourism CO.,LTD.	-	カンボジア寄港地活動に要するバス、ハイヤー借上げ料	3	随意契約 (その他)	-	-	
4	TOBU TOP TOURS (Thailand) Co., Ltd.	-	タイ寄港地活動に要するバス、ハイヤー借上げ料	3	随意契約 (その他)	-	-	
5	N.J.TOURS SDN.BHD.	-	マレーシア寄港地活動に要するバス、ハイヤー借上げ料	3	随意契約 (その他)	-	-	
6	PT.Panda Travel Agency Indonesia	-	インドネシア寄港地活動に要するバス、ハイヤー借上げ料	2	随意契約 (その他)	-	-	
7	KENTOS SERVICES PTE LTD	-	シンガポール寄港地活動に要するバス、ハイヤー借上げ料	0.5	随意契約 (その他)	-	-	
8	BLOOM-ING TOURS CO.,LTD.	-	ラオス寄港地活動に要するバス、ハイヤー借上げ料	0.2	随意契約 (その他)	-	-	

F

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)ニュー・オータニ	8010001013240	平成29年度「東南アジア青年の船」事業(第44回)における参集式等の運営業務	5	一般競争契約 (最低価格)	2	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載してない。
2	朝日梱包(株)	9010601040880	内閣府青年国際交流事業広報資料の梱包発送等	1.6	随意契約 (少額)	-	-	
3	(株)あまの創健	6180001016022	医療・衛生品の購入等	1.3	随意契約 (少額)	-	-	
4	(株)セイワビジネスサプライズ	2010401015610	消耗品類の購入等	0.9	随意契約 (少額)	-	-	
5	(株)アライ印刷	6010901000777	内閣府青年国際交流事業紹介リーフレット 他	0.8	随意契約 (少額)	-	-	
6	(株)双文社	1010001004320	内閣府青年国際交流事業通年ポスター等	0.4	随意契約 (少額)	-	-	
7	(株)祐馬工芸	2010001105514	外国参加青年等に対する贈与品の購入	0.4	随意契約 (少額)	-	-	
8	(有)創電社	4010502006218	無線機の修繕等	0.4	随意契約 (少額)	-	-	
9	(株)善光堂印刷所	1010001004155	平成29年度「東南アジア青年の船」事業(第44回)「Handbook」他	0.3	随意契約 (少額)	-	-	
10	(株)膳栄社	8010001024865	平成29年度「東南アジア青年の船」事業(第44回)「PROFILES」	0.3	随意契約 (少額)	-	-	

G

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	職員A	-	賃金	4	その他	-	-	
2	職員B	-	出張旅費	1.1	その他	-	-	
3	職員C	-	出張旅費	1.1	その他	-	-	
4	職員D	-	出張旅費	0.9	その他	-	-	
5	職員E	-	出張旅費	0.8	その他	-	-	
6	職員F	-	出張旅費	0.7	その他	-	-	
7	職員G	-	出張旅費	0.5	その他	-	-	
8	職員H	-	出張旅費	0.5	その他	-	-	
9	職員I	-	出張旅費	0.5	その他	-	-	
10	職員J	-	出張旅費	0.4	その他	-	-	